



昼間は暖かな日差しが降り注ぐ日であっても、朝の空気に冷たさを感じる日が多くなってきました。北海道や東北地方からは、雪のたよりも届くようになりました。最近になってからの急激な気温変化の影響もあってか、インフルエンザの流行が、昨年よりも早いペースで始まっているようです。これから寒い季節に向かいますが、手洗い・うがいの励行と、適切な衣服の調整等により、インフルエンザの予防に努めていきましょう。



## 業間かけ足

寒さに負けない体力づくりを目的に、12日（火）から、火曜日・木曜日・金曜日の20分休みを利用した「業間かけ足」を始めました。自分の力に合わせたためあてをもって、運動場に設定されたコースを5分間走ります。「業間かけ足」に加えて、この時期は、体育の時間も使って「一定の時間内に、どれだけの距離を走ることができるか」という持久走に取り組んでいます。

12月4日（水）の「校内持久走記録会」では、「業間かけ足」と同じ運動場の周回コースを、低学年は7分間、中学年は8分間、高学年は9分間走ります。少しでも自分の記録を伸ばしていけるよう、練習に励んでいきたいと思えます。それぞれのご家庭でも、お子さんの体調管理に気を配っていただくとともに、励ましの声掛けをしていただくよう、よろしく願います。



## 三泗小学校音楽会

11月14日（木）～15日（金）に、四日市市文化会館で「第60回 三泗小学校音楽会」が開催されました。今年で60回を数える伝統ある音楽会ですから、保護者のみなさんや祖父母のみなさんの中にも、参加された方がみえるのではないのでしょうか。四日市市と三重郡の多くの小学校が参加することから、2日間をそれぞれ「午前の部」「午後の部」に分けた4部制で行われます。

塩浜小からは、5年生・6年生の58名が、15日（金）の「午後の部（第4部）」に出演しました。6年生代表による「学校紹介」に続いて、合唱曲「希空～まれぞら～」 「ふるさと」の2曲を発表しました。第4部に出演した12校は、これまで一生懸命練習を重ねてきただけあって、どの学校もとても素晴らしい発表でした。学校によって、単一学年で出場する学校は、多くが4年生または6年生で参加しているようですが、人数の関係もあって5年生・6年生で出場している学校は、塩浜小だけでした。他の学校では1回だけしか経験できない音楽会を、塩浜小の子どもたちは2回経験できるのは、小さな学校の特権と言えるかもしれません。また、人数の多い学校は、6年生だけで100人を超えており、ステージが窮屈に感じる学校もありました。それに比べると、塩浜小はこじんまりとステージにまとまっている感じでしたが、子どもたちは、少ない人数とは思えない素晴らしい歌声を、館内いっばいに響かせていました。

参加したすべての学校の発表が終わった後、招待演奏として、プロのサクソ奏者とピアノ奏者による演奏を聞かせてもらいました。また、最後に参加者全員で「世界がひとつになるまで」の歌を大合唱し、音楽会を締めくくりました。参加した5年生・6年生の子どもたちにとって、思い出に残る音楽会になりました。

